

# 区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	<p>区民の一体感醸成プロジェクト—みんなの区役所づくり— 【事業費予算 500千円】</p>
事業目的・概要	<p>北区役所新庁舎に整備される交流スペースの活用策等を検討することを目的として、自治協議会福祉教育部会委員を含む、区内で活動する各団体等出身の参加者を集め、ワークショップ検討会を開催するもの。 交流スペースの基本的なレイアウトや、その活用に必要な機能の検討、および同スペース等を活用した、地域間や世代間の交流が深まる活用策等を検討する。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>○実施 平成30年12月～平成31年3月 計4回開催</p> <p>第1回(12月)オリエンテーション 周辺施設見学(豊栄児童センター、北区文化会館) ワークショップ(施設見学の感想共有、ソフト事業アイデア検討)</p> <p>第2回(1月)ワークショップ(基本レイアウト検討)</p> <p>第3回(2月)ワークショップ(基本レイアウト検討、ソフト事業アイデア検討)</p> <p>第4回(3月)ワークショップ(まとめ)</p> <p>○参加 ・団体推薦委員10名および公募委員1名 ・ファンリテーター2名(新潟医療福祉大学教員)</p>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>○地域課題の抽出方法および企画立案の評価</p> <p>北区役所新庁舎基本構想(H29.6策定)に挙げられた基本方針のひとつである「区民全体のシンボル、区の一体感の醸成に寄与する庁舎」を、地域課題として捉え抽出。これをもとに、区民参加型のワークショップ形式にて企画された点は評価され得る。</p> <p>周辺施設見学の感想を共有し、施設との連携と役割分担という二側面から新庁舎に整備される交流スペースの基本レイアウトの検討を行い、物品・設備の配置を含めた区民発の具体案の報告に至ったことは、成果と認められる。</p> <p>これに派生して、地域間や世代間の交流を意識したソフト事業についても、区民発の意見として提示いただくこともでき、同基本方針の掲げる期待に沿うものであった。</p> <p>○公益性・実効性・効率性の評価</p> <p>整備方針に留まっていた新庁舎の交流機能について、区民発で具体的な活用案が提示された意味において公益性は大きい。</p> <p>また、竣工後に同スペースを積極的に活用すると見込まれる区内活動団体等を中心に、参加者が一堂に会し議論が行われたため、より実際的な意見が交換されるとともに、参加者個人のみならず、団体レベルでの意志も互いに確認できた。交流スペースの活用イメージについて、各活動団体内部でも具体性をもって検討できる状況になった点は、数値化することは困難であるものの、実効性についても、一定程度認められる。</p> <p>なお、当該事業は、報償費等最小限の支出により実施が可能であった。この限りにおいて、効率性は確保されたものと考えられる。</p>
備考	